

GR-98



前後幕
付き

前幕カーテン式

埋め込み式

JAN

4984665188807



間 口	入 口 巾	奥 行	高 さ	入 口 高 さ	アーチ バイブ径	面 積
4.5m	3.3m	7.0m	2.7m	2.0m	22.2mm	約9.5坪

パイプ倉庫 GR-98型



NAN-
CORPORATION

【1409】

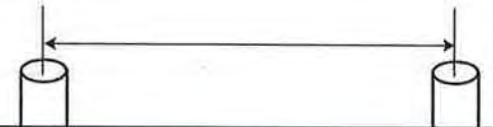
この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
 この商品の組み立て作業は、成人男性2人以上で行なって下さい。
 組み立てる前に部材一覧表と梱包部材に相違が無いことを確認し
 (小さい部品の管理に注意する)、『安全上の注意』を
 良くお読みになり、安全に作業して下さい。



製造発売元 南栄工業株式会社
 TEL 0986-38-0111

製品実寸法 『パイプ中心値 (パイプ径: 22.2mm)』

間口: 約4m50cm 奥行: 約7m4cm

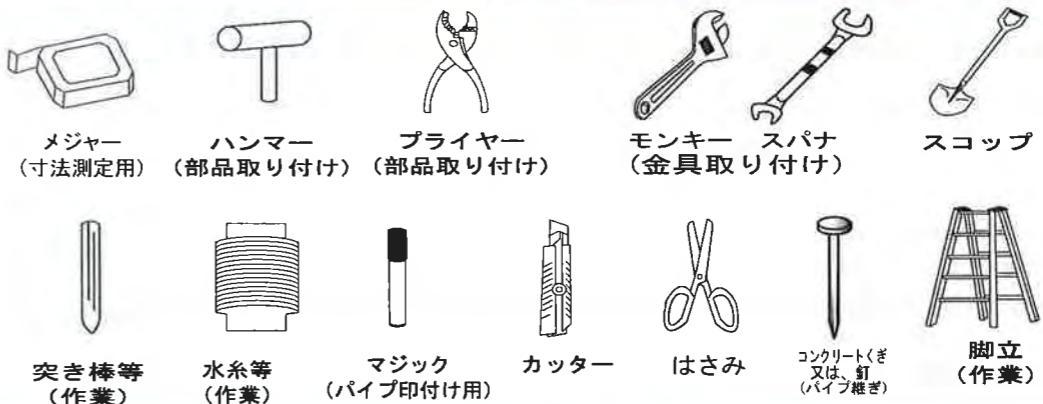


(ケース名) (部品No) (規格) (数量)

○各組み立て手順の項目ごとに Aケース ① 22×260cm 28本 の表示があります
 その項目で使用する部材ですので、先ず揃えて下さい。

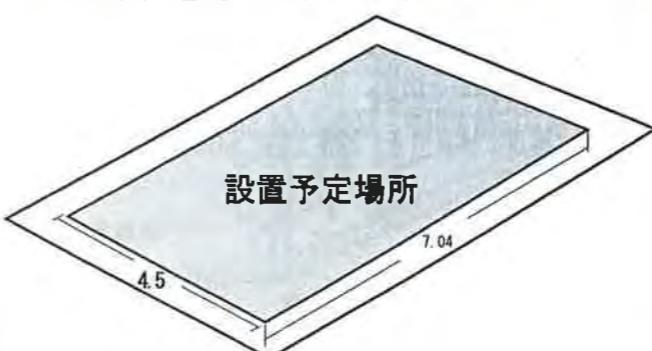
○各項目ごとに組み立て手順／イラストを一回良くお読みになってから作業を進めて下さい。

1 必要工具を準備する。



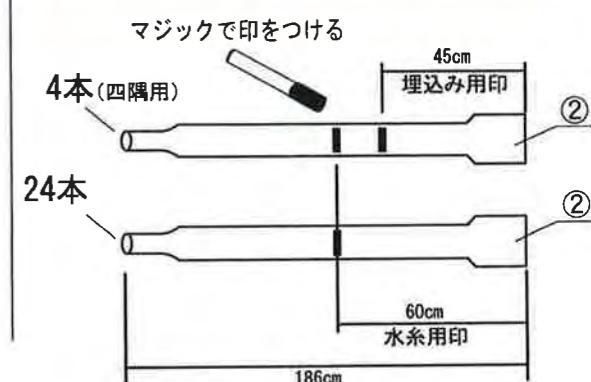
2 整地をする。

作業性を考えて広めに整地して下さい。



3 脚パイプに印を付ける。

Bケース ② 22×186SPcm 28本

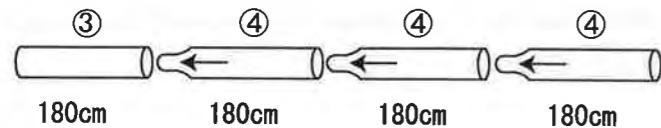


4 横通しパイプを継ぎ印を付ける。5組作ります。

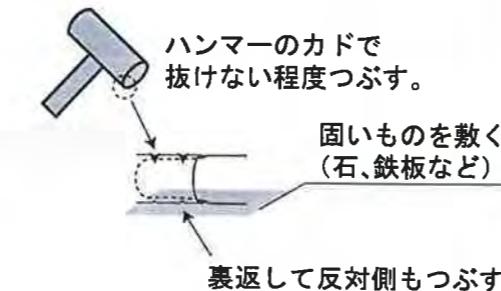
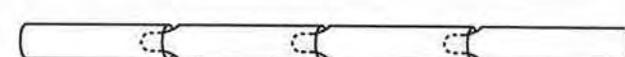
Cケース ③ 19×180cm 5本

Cケース ④ 19×180cm 15本

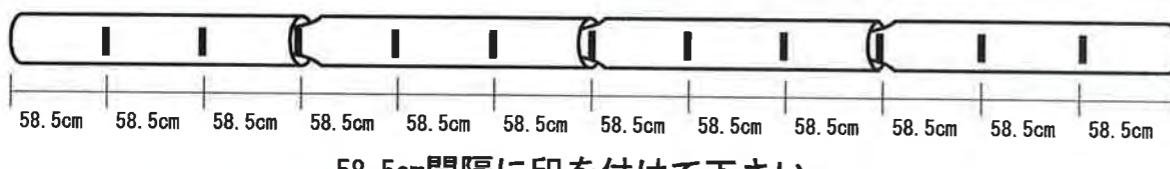
- (1) ④と④を差し込み、⑤に差し込んで下さい。
- (2) 繰いだ横通しパイプに58.5cmごとに印を付けて下さい。
- (3) 継ぎ目を抜けない様にして下さい。



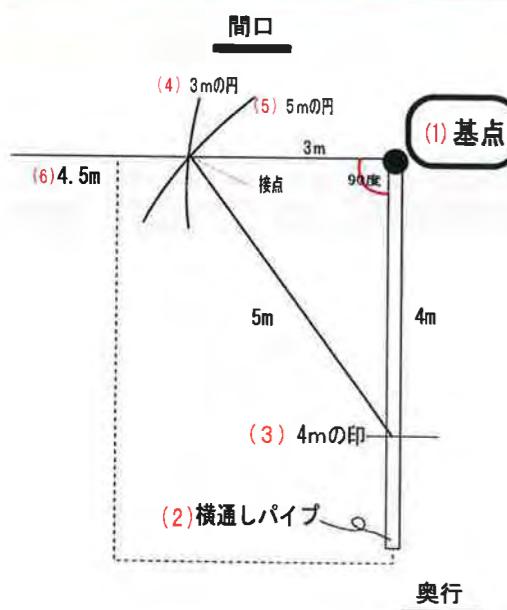
!
全ての継ぎ目を抜けない様につぶして下さい。
(完成後、風などの揺れで、抜ける事が有ります。)



! 脚パイプの埋め込み、取り付け位置となります。



5 基点を決め、直角を出す。



○直角を出す方法

- (1) 基点を決める
- (2) 横通しパイプを1本置く。
- (3) 基点から4m(横通しパイプに対して)に印を付ける。
- (4) 基点から3m(間口に対して円を書くように)印を付ける。
- (5) 横通しパイプ上の4mの印から5m(円を書くように)とり、3mの接点を出す。
- (6) 基点と接点に線を引き、延長上の4.5mが間口になる。

6 脚パイプを建てる。

突き棒



微調整は、あて木をしてハンマーで叩く。

- (1) ④で作った横通しパイプを4.5m間隔(パイプ中心)に平行に置き、四隅に穴を掘る。

②

- (2) 四隅に開けた穴に、②を手順③で付けた(埋め込み用印45cm)と地面が合う様に建てて下さい。

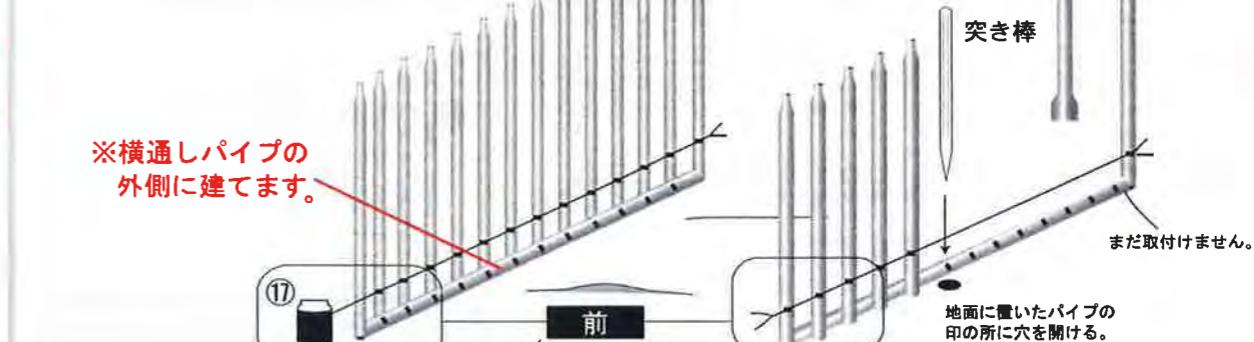
埋め込み用印と地面を合わせる。

Dケース ⑯ 水糸 1個

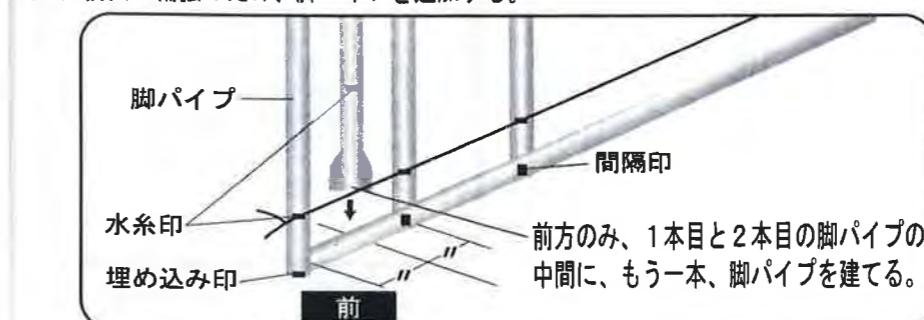
- (3) 四隅に建てた②のパイプに付けた印(水糸用60cm)に、⑯を結びつけ、張る。

- (4) 横通しパイプに付けた印(58.5cm間隔)の位置に約45cm穴を開ける。

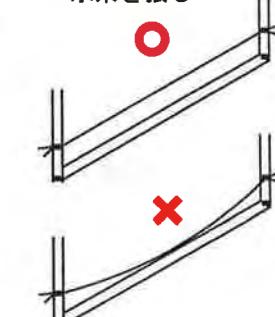
- (5) 残りの②のパイプを建てる。



- (6) 前面の補強のため、脚パイプを追加する。



水糸を張る



7 外ジョイントに部品を取り付ける。前後用に、2組作る

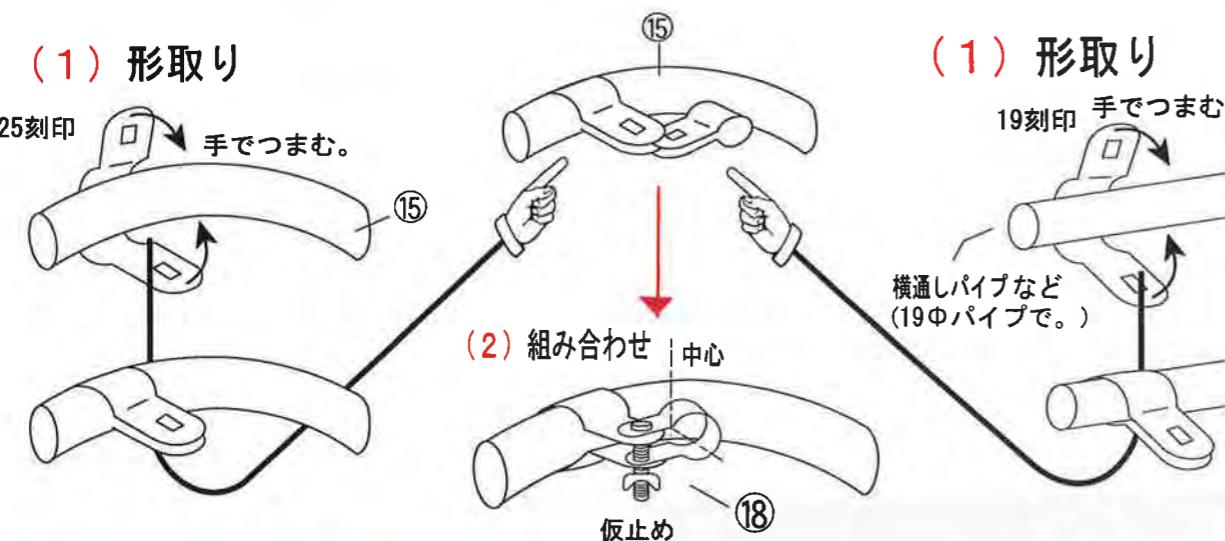
Dケース ⑯ 外ジョイント 2本

(1) ⑯の部品を一旦バラして、⑯に25(刻印)・横通しパイプに19(刻印)を、それぞれ合わせて形を作つて下さい。

(2) 形を作った⑯を⑯で組み合わせて下さい。

(1) 形取り

25刻印 手でつまむ。



(1) 形取り

19刻印 手でつまむ。

横通しパイプなど
(19中パイプで。)

8 アーチパイプを脚パイプに差し込み、組む。

Aケース ① 22×260cm 28本

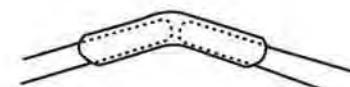
Dケース ⑯ 外ジョイント 12本

(1) ①の曲がりの短い方を②に、差し込んで下さい。

(2) ⑯を①に差し込み、つなぐ。⑦で作った2組は、最前列と最後列に使用してください。

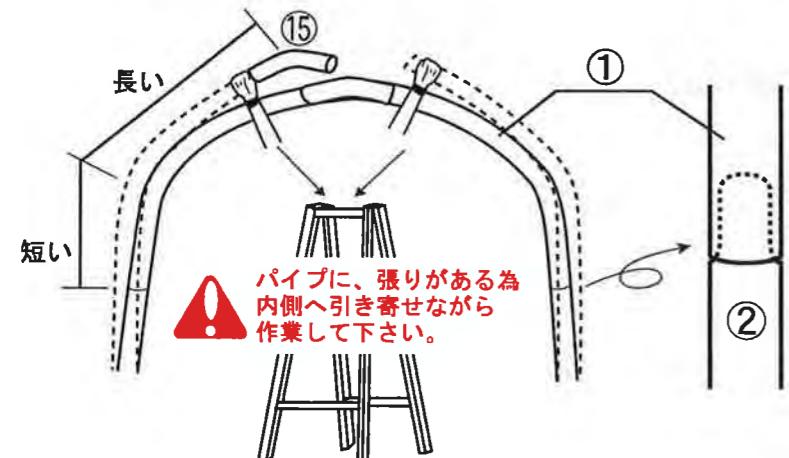


上から押さえ込む様にすると、差し込みが失敗した時パイプがハネ上がり
非常に危険ですので絶対に上から押さえ込まないで下さい。



しっかり奥まで差し込む

⑦で作った、外ジョイント

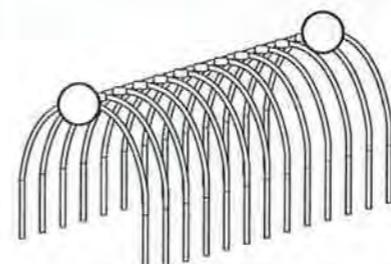


ここまで完成図

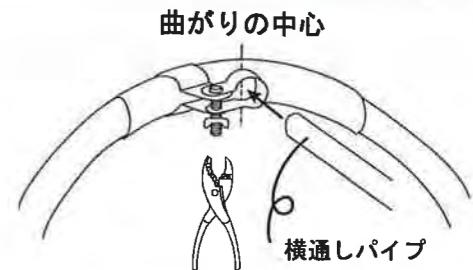
9 横通しパイプを本体内側に取り付ける。(5本取り付け)

(1) 図の順番に、④で作った、横通しパイプを取り付ける。

前後2箇所に取り付けて下さい。

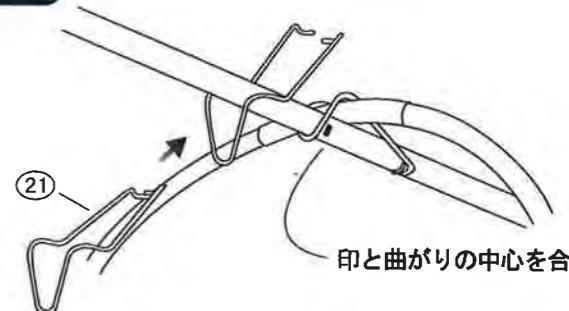
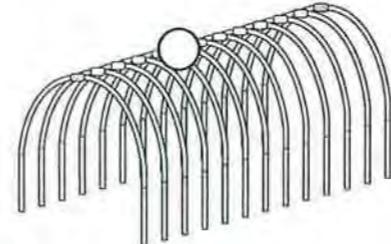


曲がりの中心



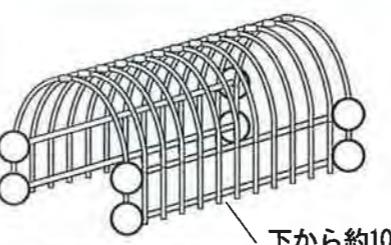
Dケース ⑰ ハイフバンド 12個

中12箇所に取り付けて下さい。

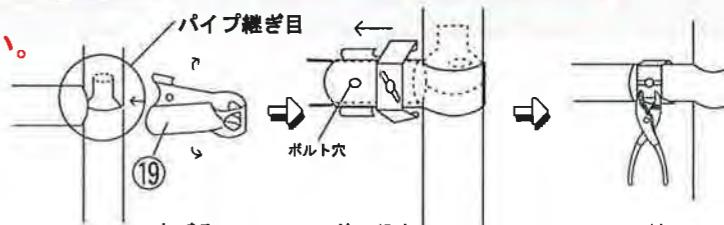


Dケース ⑲ Tバンド 8組

前後左右8箇所に取り付けて下さい。



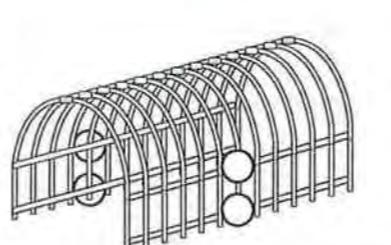
内側から見た図



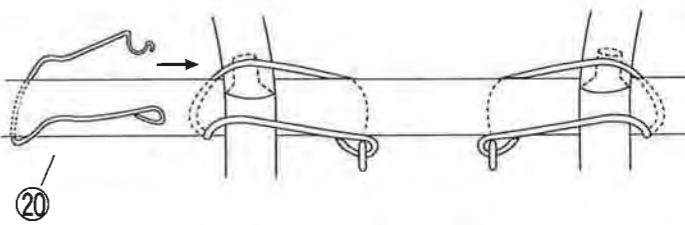
ネジ突起部は、内側へ。

Dケース ⑳ フックバンド 48個

左右中48箇所に取り付けて下さい。



向きを交互に変えて
取り付けると強度が増します。

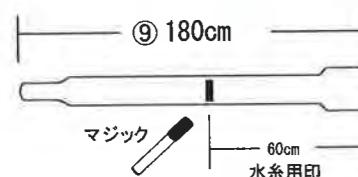


外側から見た図

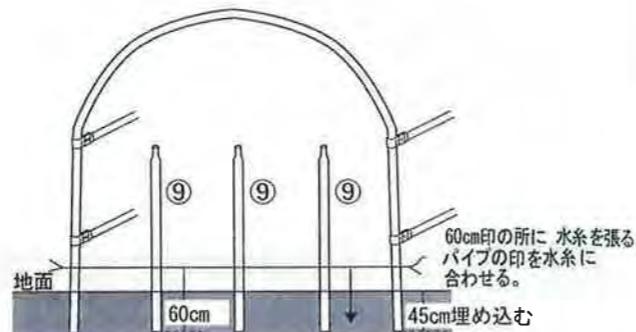
10 後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)

Cケース ⑨ 19×180SPcm 3本

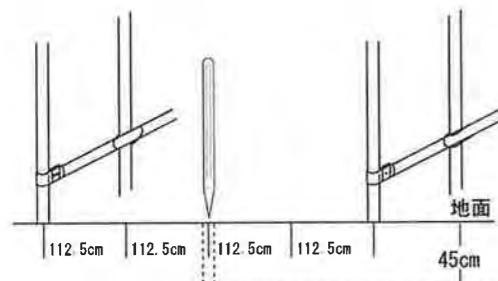
(1) ⑨後用パイプに、印を付けて下さい。



(3) 後ろ面両端の脚パイプ60cm印の所に水糸を張り、⑨の後ろ用パイプを差込み60cmの印を、水糸に合わせて下さい。



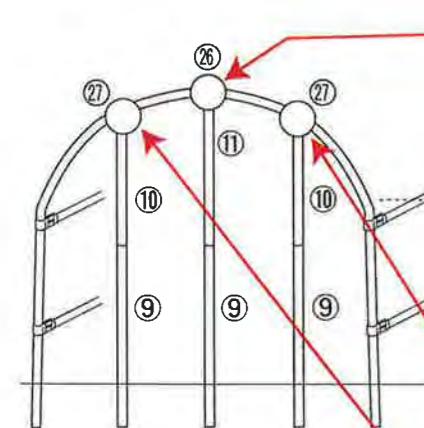
(2) 112.5cm間隔に、約45cm 深さの穴を掘る



Cケース ⑪ 19×130cm 1本

Dケース ⑯ ニューユニバーサルジョイント 25×19 1組

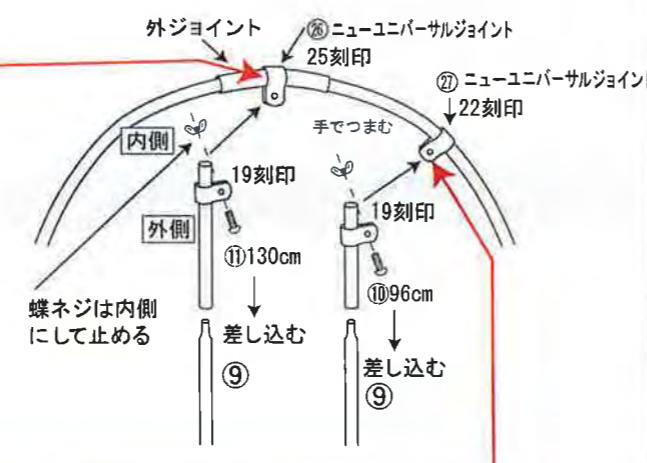
(4) 天井部の外ジョイントに⑯のユニバーサルを取り付け⑪のパイプを止めて下さい。



Cケース ⑩ 19×96cm 2本

Dケース ⑰ ニューユニバーサルジョイント 22×19 2組

(5) 下図の様に、アーチパイプの左右に⑰のニューユニバーサルを取り付け⑩のパイプを止めて下さい。



11 後部組立て、ビニバーを取り付ける

Cケース ⑫ ビニバー 230cm 2本

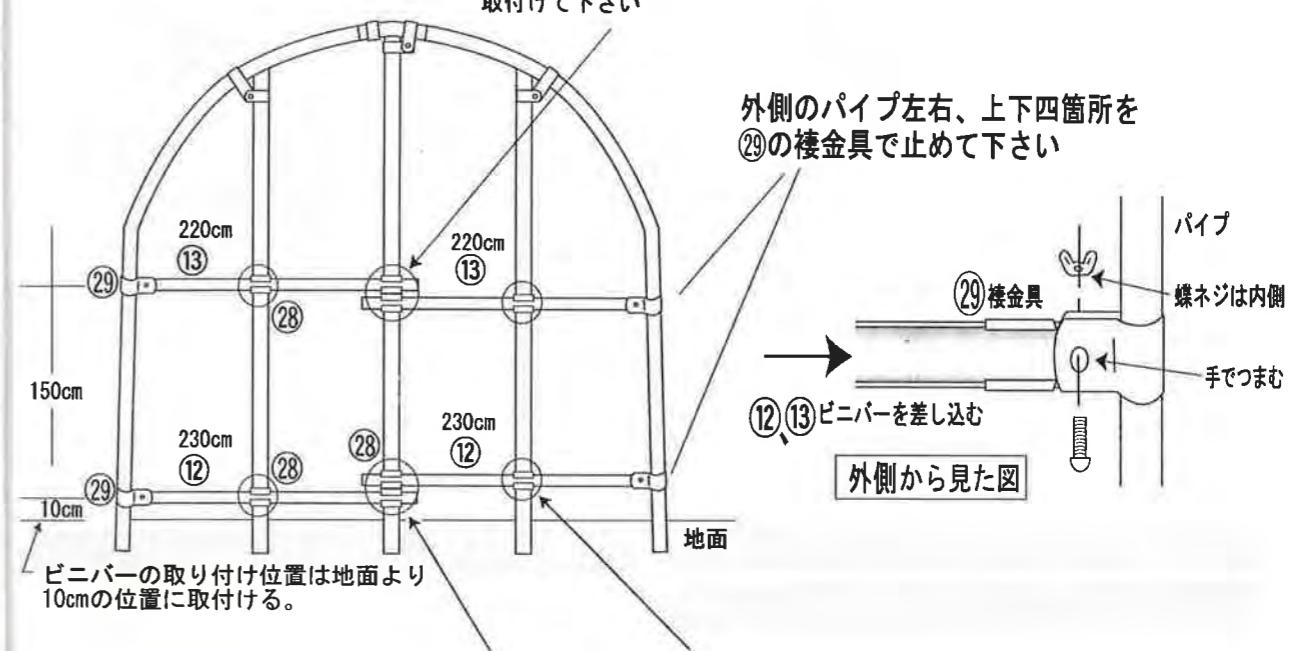
Cケース ⑬ ビニバー 220cm 2本

Dケース ⑯ パイプ止め金具 19用 8個

Dケース ⑰ 棟金具(外) 22用 4個

ビニバーは上下させ取付けて下さい

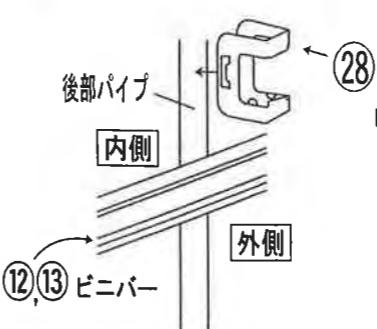
外側のパイプ左右、上下四箇所を⑰の棟金具で止めて下さい



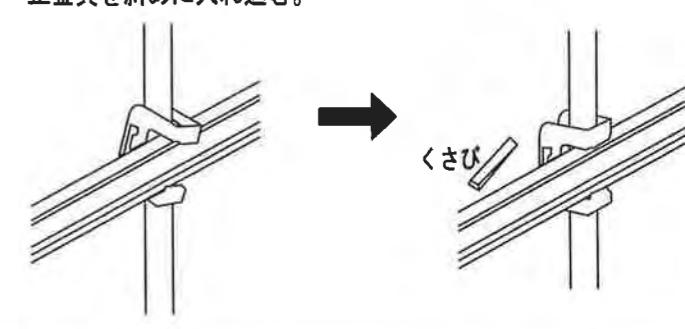
後部パイプの上下8箇所を⑯のパイプ止め金具でとめてください。

パイプ止め金具の取り付け手順

1 パイプ止め金具を後部パイプにはめ込む。



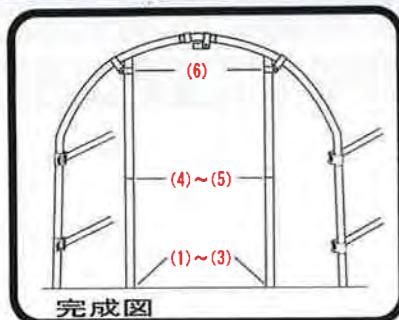
2 パイプとビニバーに隙間をあけて、図のようにパイプ止め金具を斜めに入れ込む。



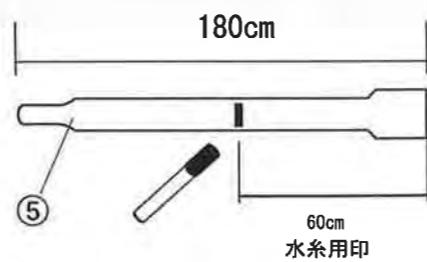
3 クサビを打ち込む

12 前部パイプ組み立て(出入り口)

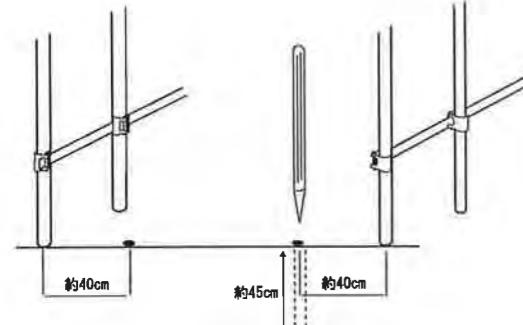
Cケース ⑤ 19×180SPcm 2本



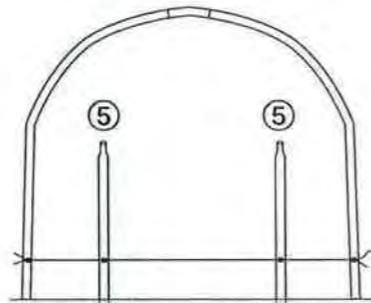
(1) ⑤に、印を付けて下さい。



(2) 端から40cmに、約45cm穴を掘って下さい。



(3) 間口両端脚パイプの水糸用印に水糸を張り、
⑤の印が合う様に建てて下さい。



Cケース ⑥ 19×70cm 2本

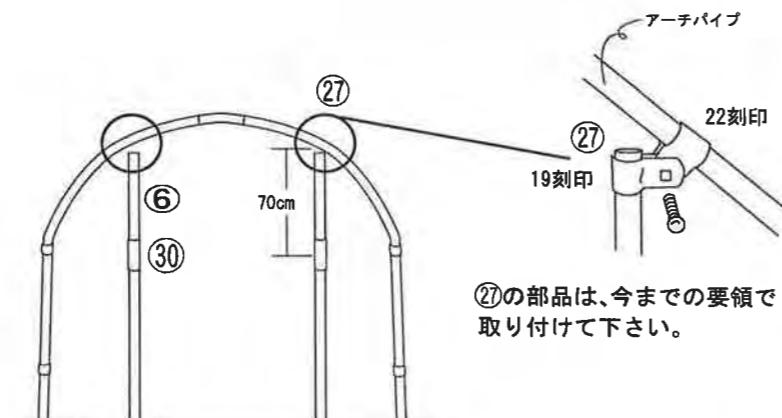
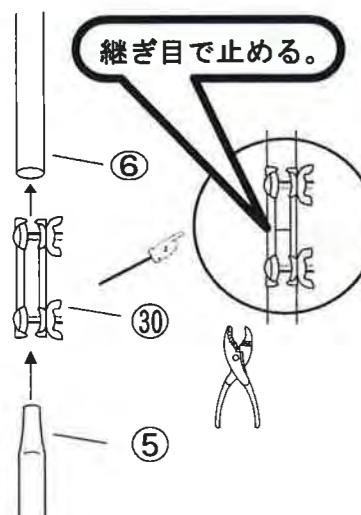
Dケース ⑦ ニューユニバーサルジョイント 2組

Dケース ⑩ ストレートジョイント 2個

(4) 建てた⑤に⑩各々先に通しておき、⑥を差込んで下さい。

(5) ⑤と⑥の継ぎ目を⑦で止めて下さい。

(6) ⑥の先端部とアーチパイプの接点を⑧で止めて下さい。



13 前幕を取り付ける。

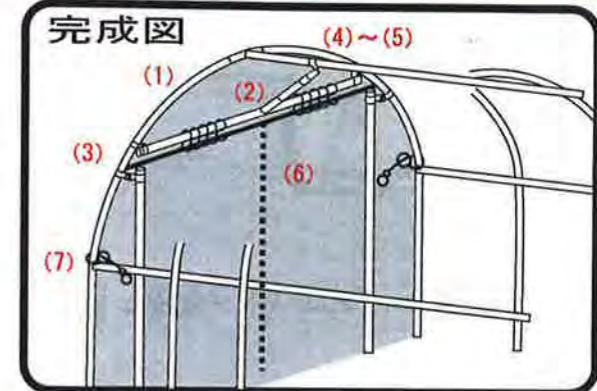
Cケース ⑦ 19×163cm 2本

Cケース ⑧ 19×54cm 1本

Eケース ⑨ 一式

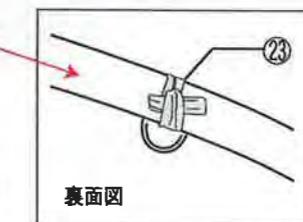
Dケース ⑩ Rバンド 1個

完成図



(1) ⑨前幕のカブリを結び止める。

(2) ⑩でアーチパイプに結びつける。

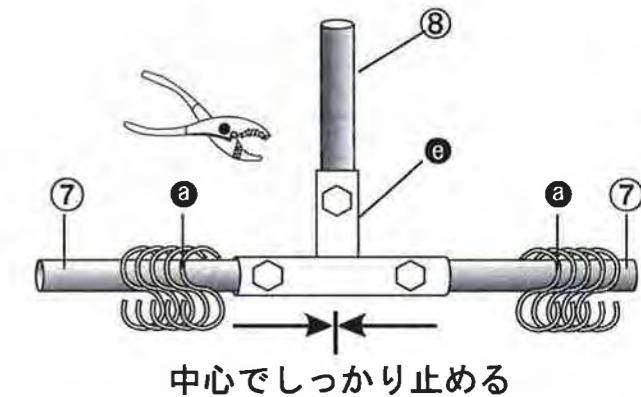


(3) ⑩を30cm程に数本カットしておき
全てのハトメを止めて下さい。

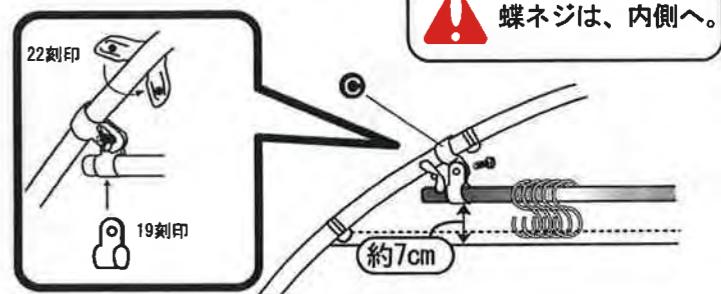
(2) 右図の様に組んで下さい。

eの部品に⑦・⑧を差し込み、

⑦のパイプに各々 a を5個づつ
通して下さい。



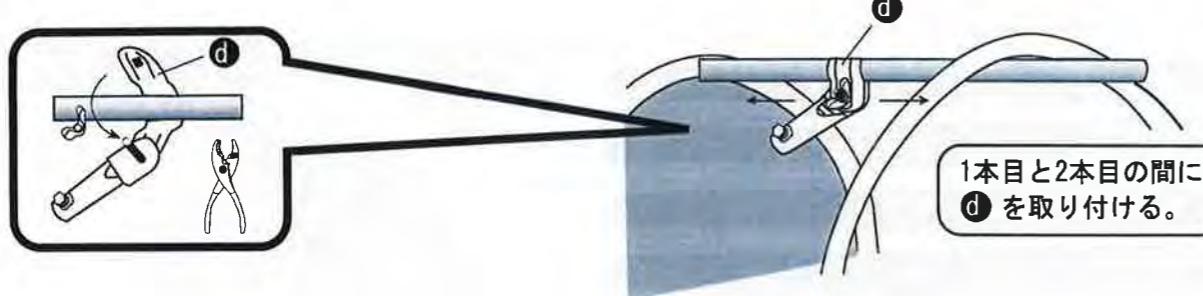
(3) (2)で組んだパイプを、
⑩でアーチパイプに
取り付けて下さい。



蝶ネジは、内側へ。

カブリの下端より約7cmの
位置に左右⑩で取り付ける。

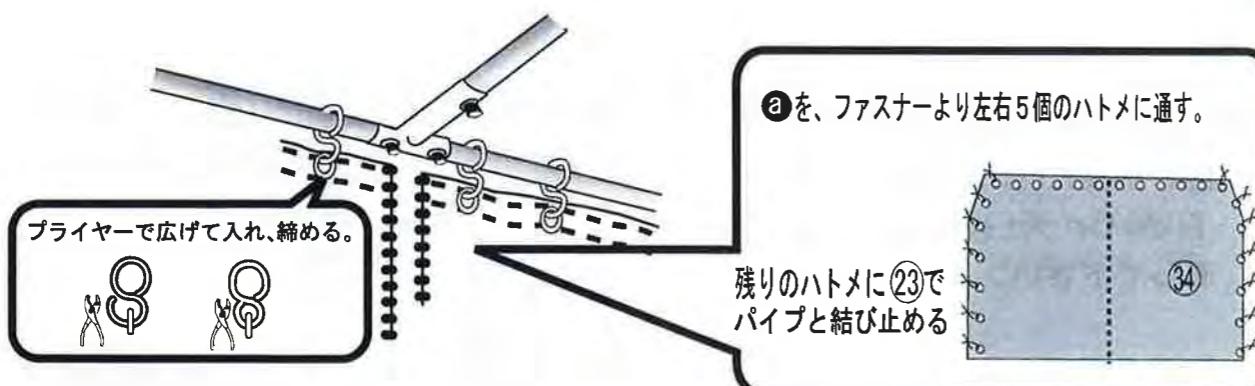
(4) 天井の前から1本目と2本目のアーチパイプの間に④を取り付けて下さい。



(5) その④に、ツカパイプを差し込んで下さい。

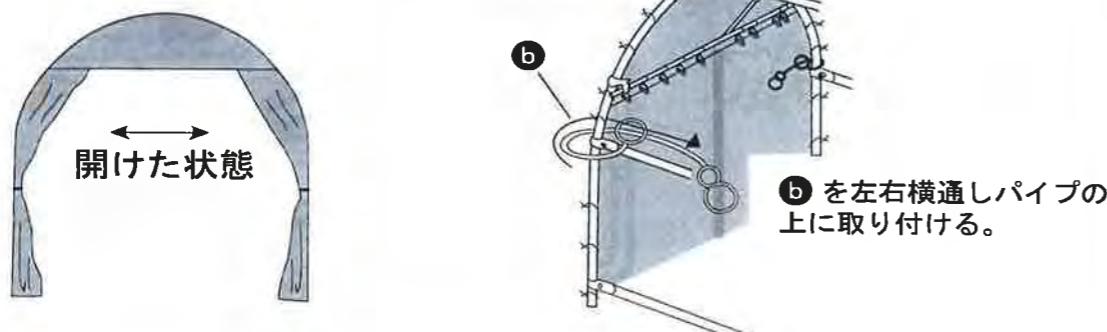


(6) ③④ 前幕を広げて、上部ハトメに①を通して、残りのハトメはパイプに②で結びとめて下さい。



(7) 横通しパイプ（一番上）取り付け位置に⑤を左右に取り付けて下さい。

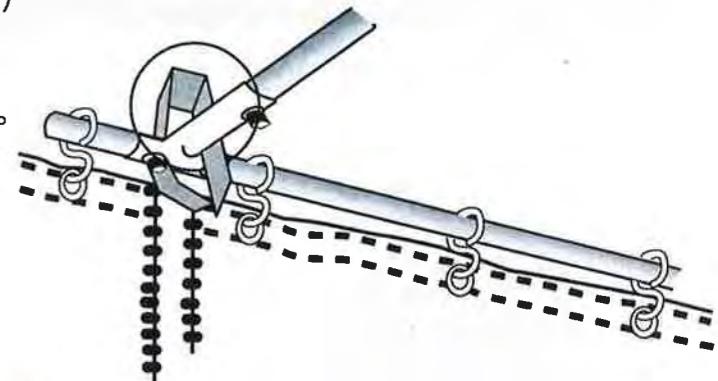
※前幕を開けた時、この⑤で止めます。



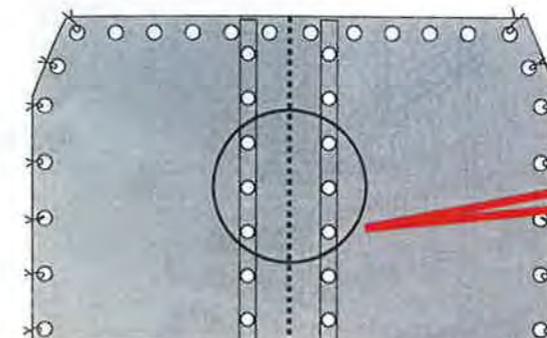
(8) カブリに付いているバンドを部品に結び止めてください。

(風による、バタ付きをおさえる為。)

結び止める。



(9) 前幕のファスナー保護

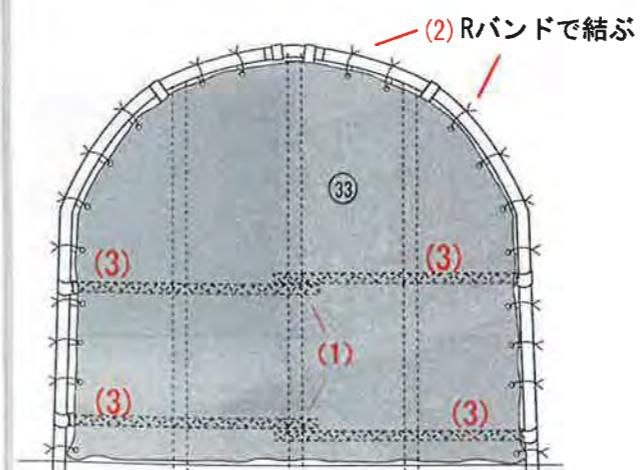
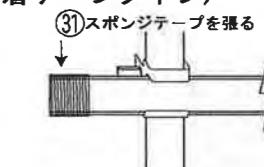


14 後幕を取り付ける。

Dケース	②₃	Rバンド	1個
Cケース	⑭	スプリング	4本
Dケース	③₁	スポンジテープ	4枚

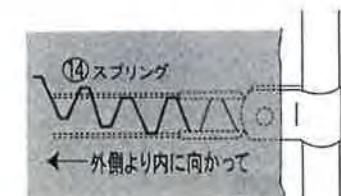
Eケース ③₃ 後幕 1枚

(1) ③①スポンジテープをビニバー
の先端に張って下さい。(4箇所)
(粘着テープタイプ)



(2) ③②のRバンドを30cm程切り、③③後幕を
アーチパイプに結びとめて下さい。

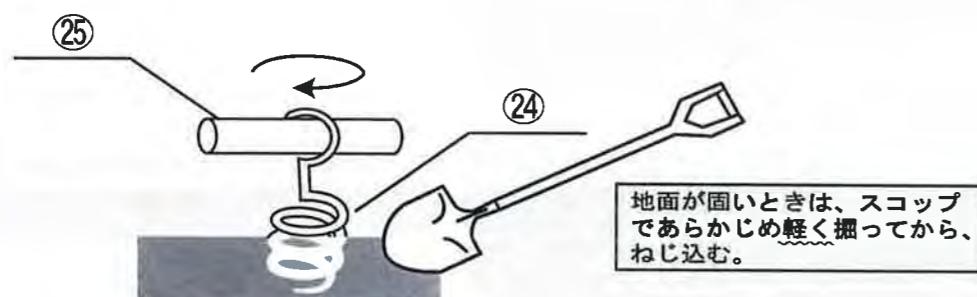
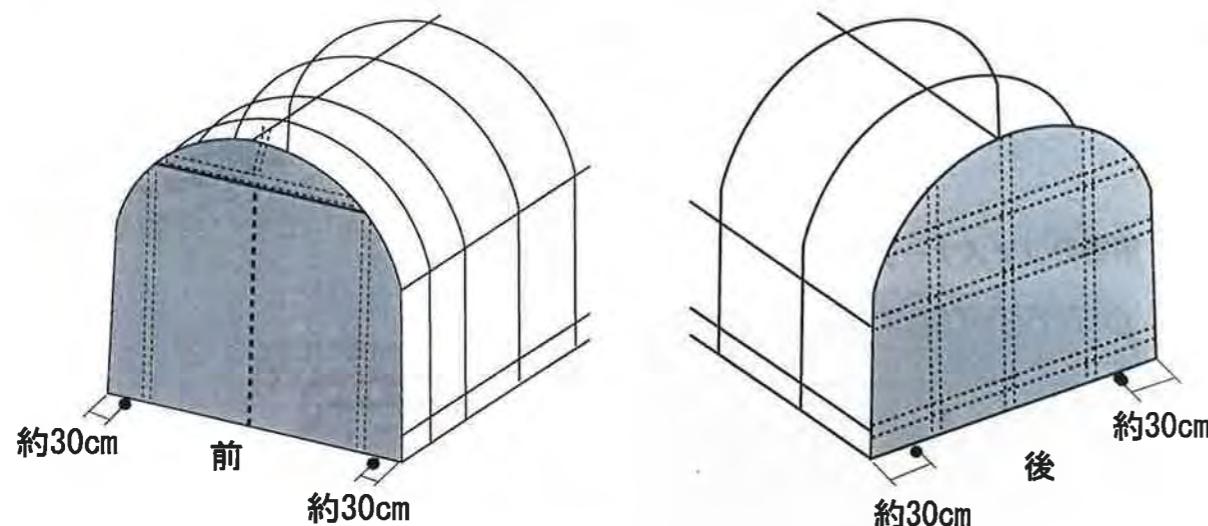
(3) 後幕をビニバーに止めて下さい。
④スプリングは下図の様に外側からシートを
押さえながら、止めてください。



15 ラセン杭をねじ込む。

Dケース ②₄ ラセン杭 4個 Dケース ②₅ 19×60cm 1本

(1) 下図の位置に④をねじ込んで下さい。



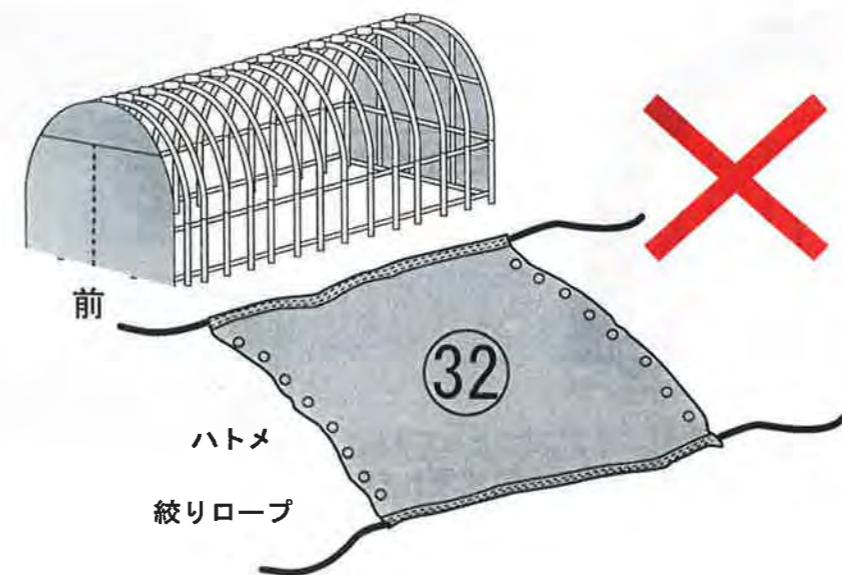
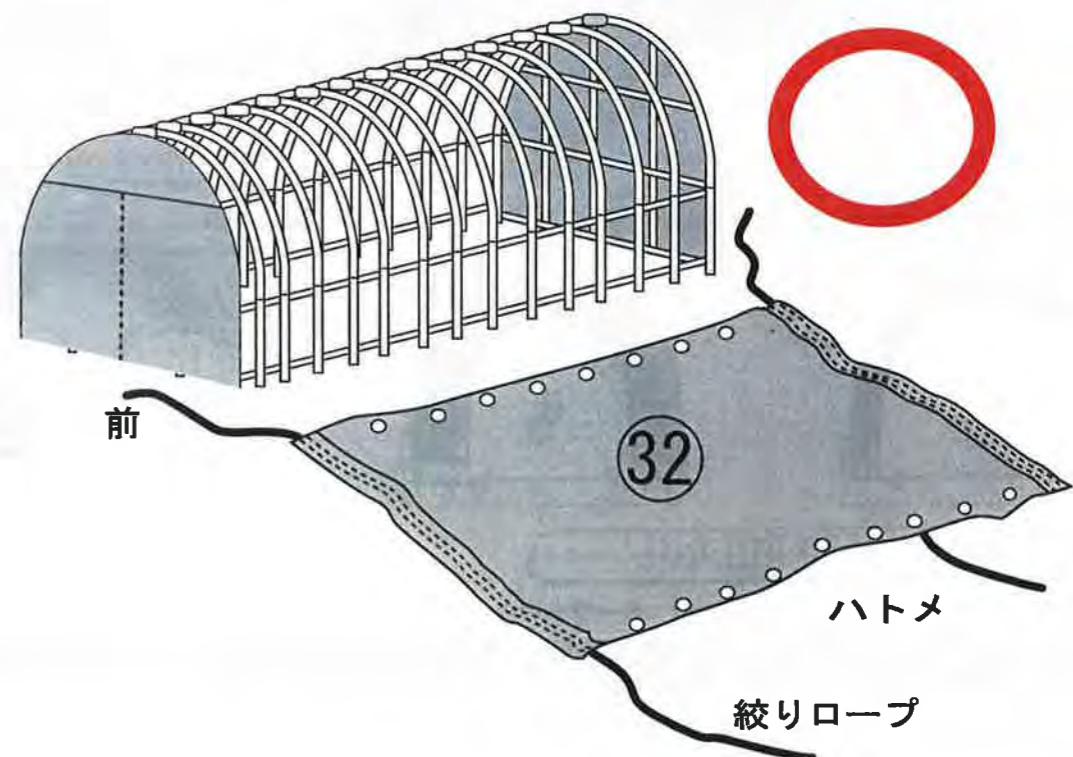
※⑤のパイプは、この作業以外使用しませんので、別途管理して下さい。



16 天幕を広げる。

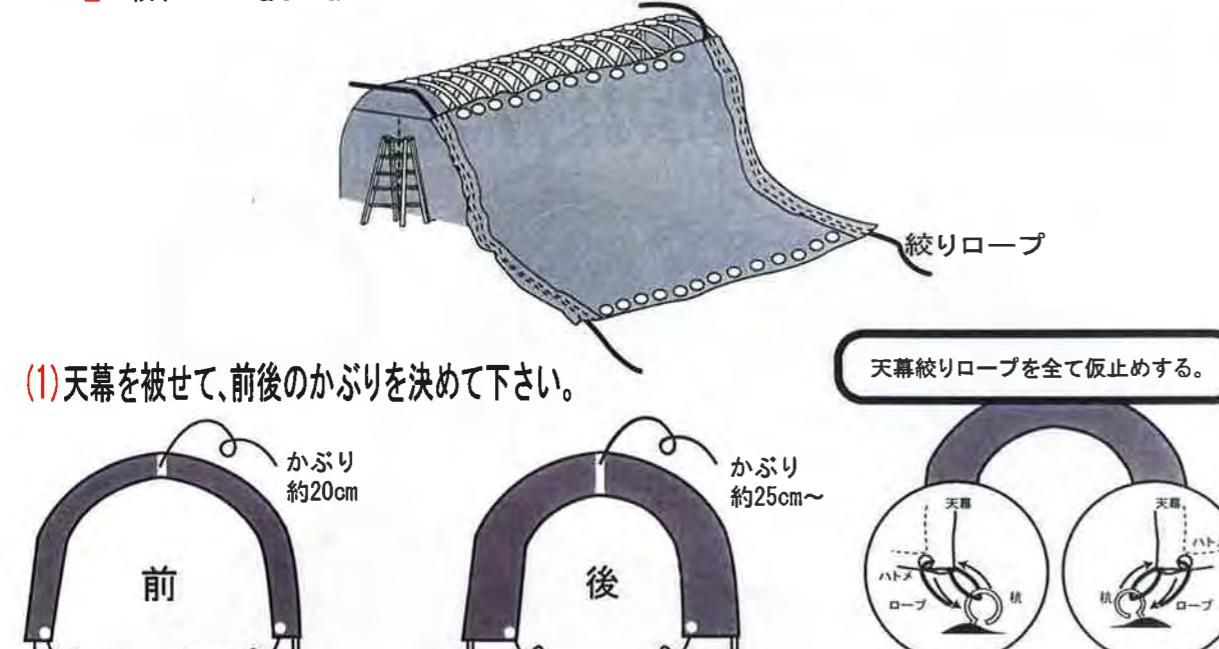
Dケース ③₂ 天幕

- 本体の各部品が正しくしっかりと取り付けられているか確認して下さい。
- 突風によりあおられ、思わぬ事故・ケガの元になりますので風の強い日は作業をしないで下さい。
- 天幕を広げる際は、本体の周辺を整理してキズが付かない様に注意して下さい。
- ▲前幕・後幕・天幕は、張り替用がありますので、お買い求めの販売店にてお問い合わせ下さい。



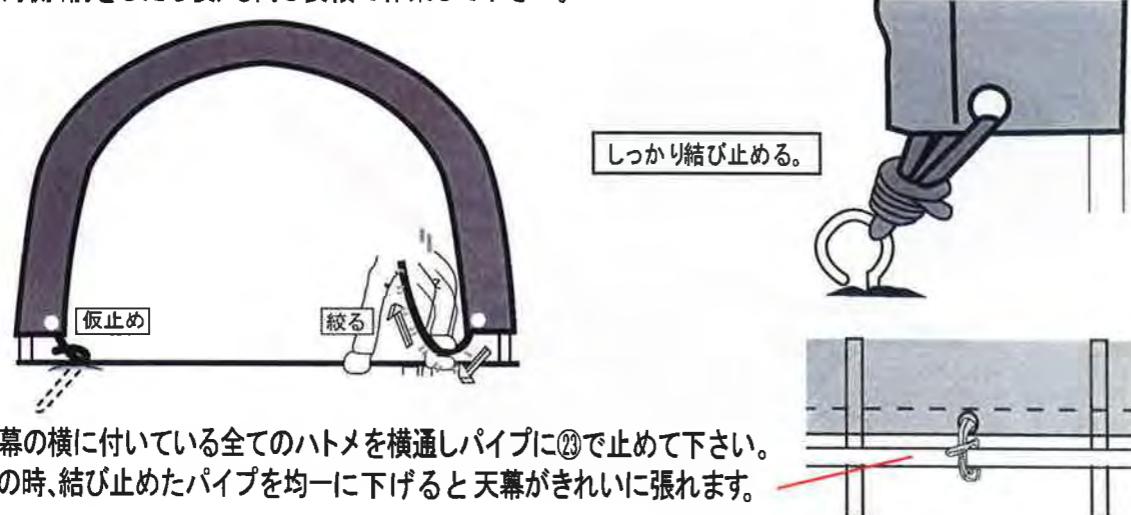
17 天幕を被せて、張る。

- 突風によりあおられ、思わぬ事故・ケガの元になりますので風の強い日は作業しないで下さい。
- 天幕を被せる際は、本体の周辺を整理してキズが付かない様に注意して下さい。
- 脚立等を使用する際は、注意して作業して下さい。
- 絞りロープを引っ張ると抜けますので注意して下さい。

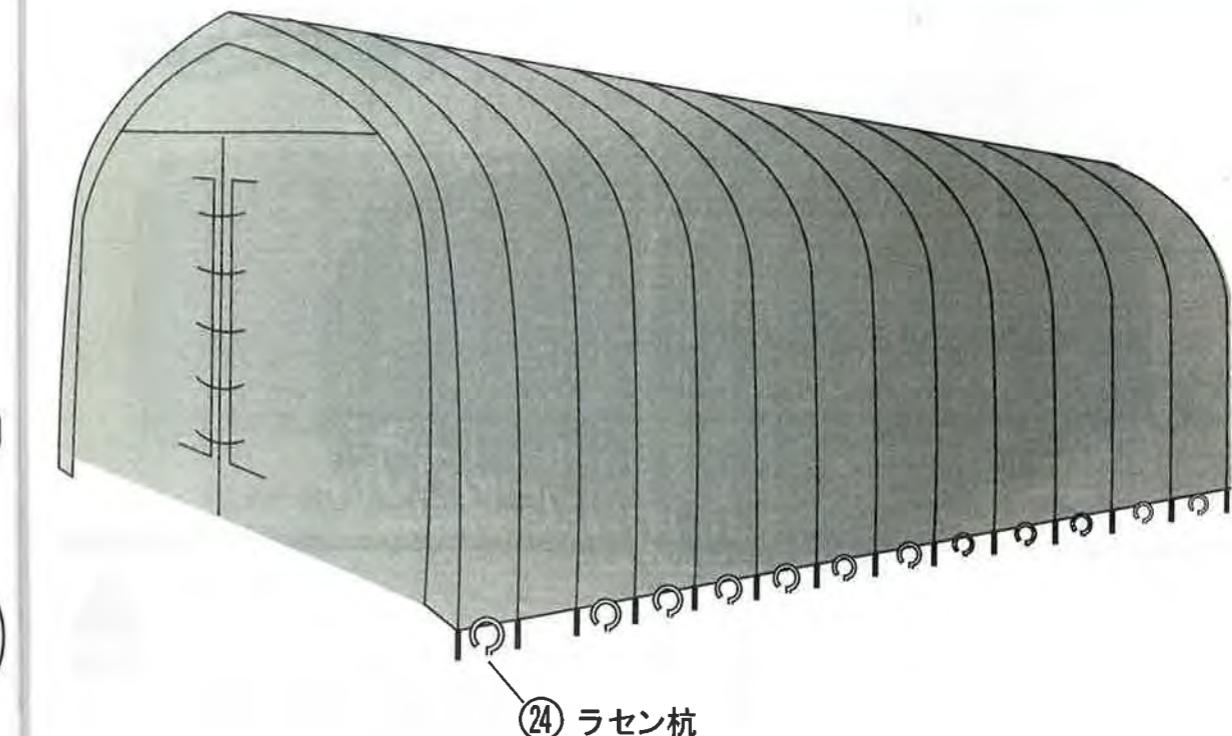


前後のかぶり・左右すき間を確認しながら

- (2) 片方の杭から仮止めしたロープを外し、ロープを引き上げる。
- (3) ロープを引き上げたまま、足を上下に動かしてロープを踏み込み絞って下さい。
- (4) ピーンとロープを張ったら、ハトメと杭に通して、しっかりと杭に結び止めて下さい。
- (5) 片方の仮止めを外して(3)～(4)と同じ様に作業して下さい。
- (6) 反対側(前をしたら後)も同じ要領で作業して下さい。



18 ラセン杭をねじ込む。



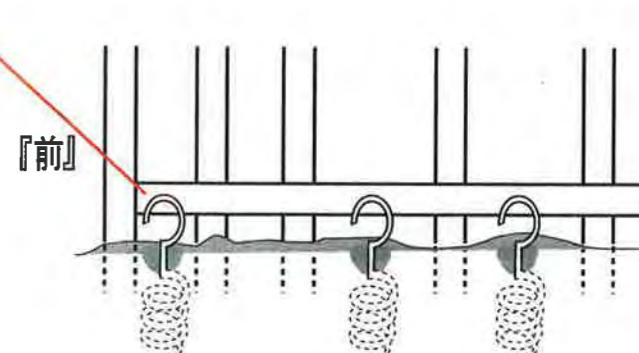
Dケース ②4 ラセン杭 24個 Dケース ②5 19×60cm 1本

- (1) ②4 ラセン杭を脚パイプの間ごとにねじ込んで下さい。

『注』前の個所は、右下図の様にして下さい。



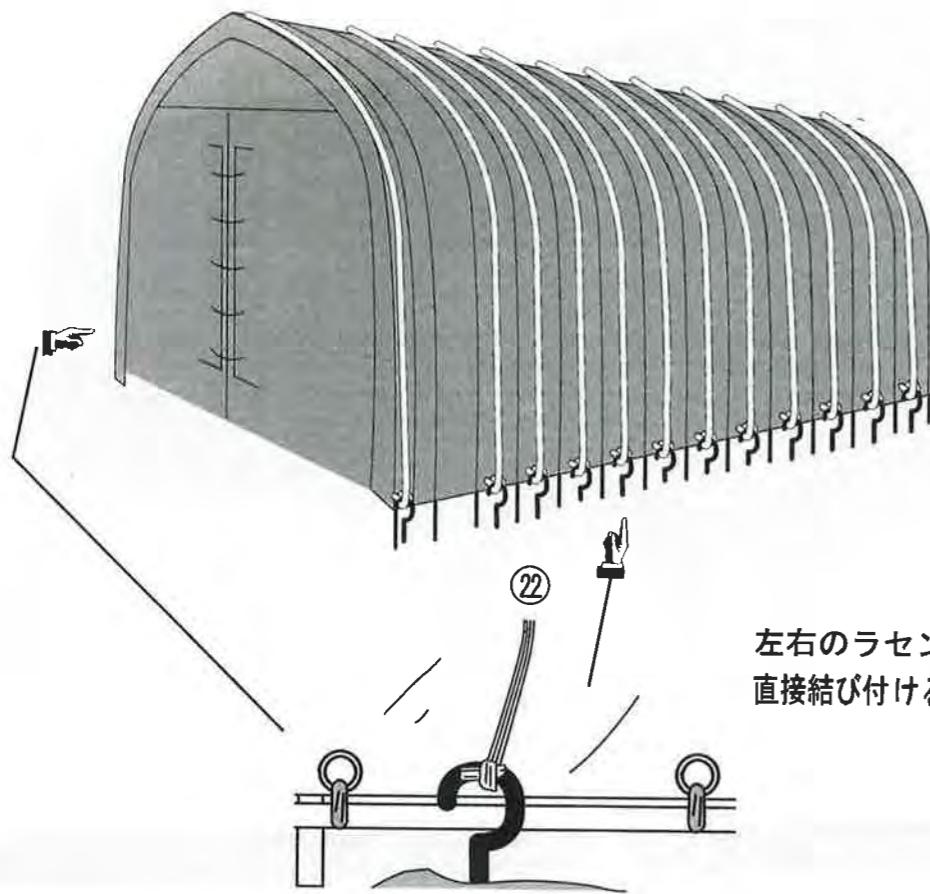
各パイプの間に
ラセン杭をネジり込む



19 天幕を押さえる。

Dケース ② Rバンド 1個

※Rバンドの締め過ぎに注意して下さい。 ※Rバンドは、定期的に締め直して下さい。



■商品を末永くご愛用していただく為にも下記事項をお読み下さい。

■規格等が分かるように、全ての用紙を保管して下さい。

●パイプについて

○パイプは、特殊亜鉛メッキ加工を施しておりますが、長年ご利用されると切り口等から錆びが発生します（設置条件で年数は変わります）ので、そのまま使用されると接触したシートが破けますので、錆び付いたパイプ（部品含む）は、交換して下さい。

●バンドについて

○長年ご利用されると老朽等により劣化します（設置条件で年数は変わります）、そのまま使用されると接触したシートが破けますので、劣化したバンドは交換して下さい。

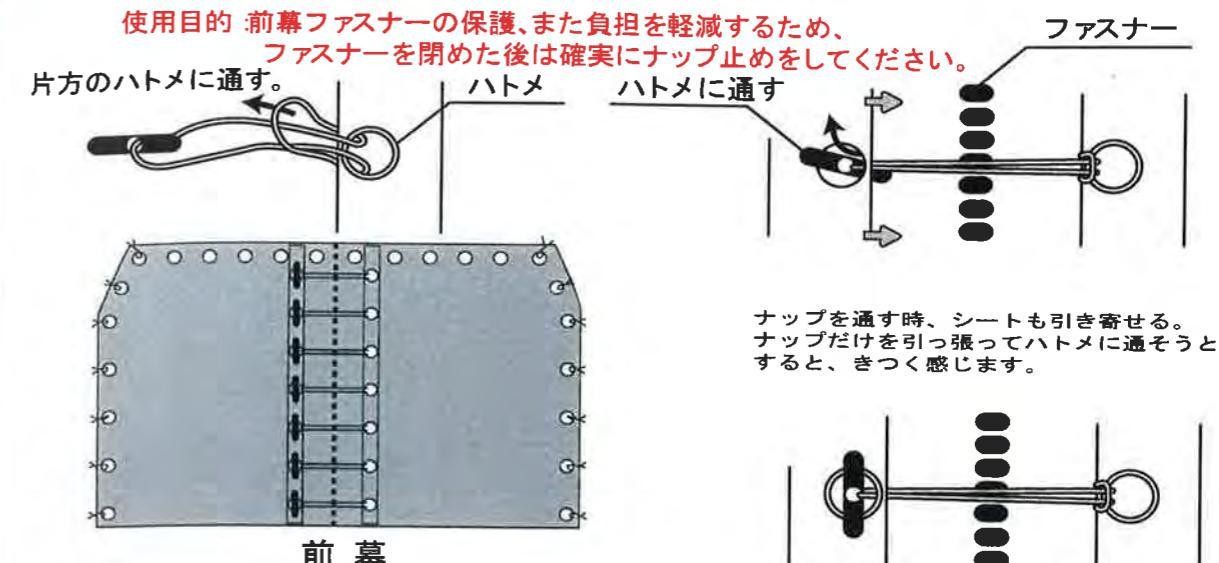
●シートについて

○シート耐久年数は設置場所等により大きく変動します。

○張り替用がありますので、お買い求めの販売店でお問い合わせください。

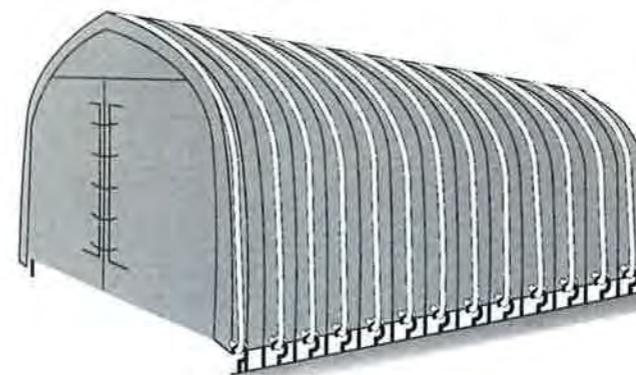
解説-1

Eケース ① 別袋（ナップ止め）

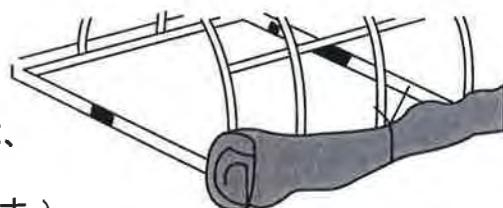


注意

倉庫に前幕、後幕、天幕を張ったとき下部にすきまができるますが、これは下記理由によりあらかじめすきまのできるように設計されております。



倉庫内の換気をよくする。
機械等の、排気ガス換気のため。
倉庫内の温度上昇防止。



強風時は、シートを横にまとめてロープ等で止める。

警告

○風の強い時、あるいは強風が予想される時は、すべてのシートを取り外してください。

（倉庫が飛ばされて思わぬ災害のもとになります。）

パイプ倉庫 GR-98型

部材一覧 保存

【1409】

製品寸法(パイプ中心値)
間口4.5m×高さ2.7m×奥行約7.04m

Aケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
①	アーチパイプ	22×260cm	28	
Bケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
②	脚パイプ	22×186SPcm	28	
Cケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
③	横通しパイプ	19×180cm	5	
④	横通しパイプ	19×180Scm	15	
⑤	前柱パイプ	19×180SP cm	2	
⑥	"	19×70cm	2	
⑦	レールパイプ	19×163cm	2	
⑧	ツカパイプ	19×54cm	1	
⑨	後部脚パイプ	19×180SP cm	3	
⑩	後部パイプ	19×96cm	2	
⑪	後部パイプ	19×130cm	1	
⑫	ビニバー	230cm	2	
⑬	ビニバー	220cm	2	
⑭	スプリング	200cm	4	
Dケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
⑮	外ジョイント	22用	14	
⑯	軍手		1組	
⑰	水糸	約100m	1	
⑱	ニューユニバーサルジョイント	25×19	2	

No.	品名	規格	数量	形 状
⑲	Tバンド	22×19	8	
⑳	フックバンド	19×19/22兼用	48	
㉑	パイプバンド	25×19	12	
㉒	Rバンド	5芯×約150m	1	
㉓	Rバンド／グレー	約70m	1	
㉔	ラセン杭	小	28	
㉕	ラセン杭用パイプ	19×60cm	1	
内梱小箱(前後パイプ用部材)				
㉖	ニューユニバーサルジョイント	25×19	1	
㉗	ニューユニバーサルジョイント	22×19	4	
㉘	パイプ止金具	19用	8	
㉙	棟金具(外)	22用	4	
㉚	ストレートジョイント	19用	2	
㉛	スポンジテープ	10cm	4	
Eケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
㉜	天幕	約幅7.8m×長さ7.5m	1	
㉝	後幕		1	
㉞	前幕		1	
㉞ 内部品セット				
a	Sカン		10	
b	Sカン付ゴムロープ	倉庫専用	2	
c	ニューユニバーサルジョイント	22×19	2組	
d	ニュー自在Tバンド	19×19	1	
e	三穴Tジョイント	19用	1	
f	ナップ止め		7	

裏面『安全上の注意』を
作業前に必ずお読み下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

!**警告**

この項目の内容は「人が死亡または重傷^{*1}を負う可能性が想定される内容」を示しています。

^{*1}「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

①禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。

固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置して下さい。

置いただけの設置は絶対に行わないで下さい。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まってる場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をして下さい。

②禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないで下さい。

③禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置して下さい。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置して下さい。

④禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

⑤禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置して下さい。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

⑥禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないで下さい。

⑦禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

⑧禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

⑨禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないで下さい。

⑩禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないで下さい。災害の原因となるおそれがあります。

⑪禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をして下さい。

⑫禁止 シートを張る作業について

弊社取扱製品のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張って下さい。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

⑬禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用下さい。他の用途には絶対に使用しないで下さい。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないで下さい。

⑭禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないで下さい。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意下さい。

⑮禁止 危険物の貯蔵禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないで下さい。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめ下さい。

⑯禁止 換気に注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないで下さい。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないで下さい。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行って下さい。

!**注意**

この項目は「人が傷害^{*2}を負う可能性が想定される内容や、物的傷害^{*3}の発生が想定される内容」を示しています。

^{*2}「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。

^{*3}「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかる拡大損害を指します。

①注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないで下さい。

②注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めて下さい。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

③注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等を外しまとめてロープ等で止めて下さい。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、強風時にはシート・ビニール・ネット等を外すだけでなく、畳んで収納して下さい。

④注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、隨時雪降ろし作業を行って下さい。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないで下さい。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行って下さい。

■メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行って下さい。

①注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認して下さい。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行って下さい。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

②注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認して下さい。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

③注意 降雨後の手入れ

雨が降った後などシートに水がたまつた場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直して下さい。水がたまつたままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

④注意 フレームの補強について

弊社取扱製品を使用していて、フレームからキシリ音がしたり、風や雪に対して危険を感じた場合は、別途フレームの補強をすることをおすすめします。

⑤注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番をご注文下さい。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管して下さい。